

柏市学校給食センター提供分

1 検査機関：株式会社 江東微生物研究所

2 検査方法：(1) ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリーによる核種分析
(2) 学校給食で実際に提供した1食を1週間（原則5日）分ごとに検査

3 採取期間：平成28年 6月 6日～ 6月10日

4 検査日：平成28年6月11日

5 その他：(1)検出下限値とはこの検査機器で算出することが出来る最小の値であり、検査環境、検体の状態等によって一定ではありません。
(2)算出に当たっては、経口摂取による実効線量係数（mSv/Bq）、小学校は7～12歳、中学校は12歳～17歳を使用しました。
(3) 預託実効線量とは、20歳以下の子どもは70歳になるまでに被ばくする線量、大人は内部被ばくしてから50年間に被ばくする線量です。

6 検査結果および内部被ばくの預託実効線量

総重量 (kg)	測定結果(下段:検出下限値) 単位: Bq/kg		放射性セシウムの 内部被ばくの 預託実効線量(mSv)	平成28年度中の 内部被ばくの 預託実効線量(mSv)
	放射性 セシウム 1 3 4	放射性 セシウム 1 3 7		
3.190	不検出 1.12	不検出 0.76	0 ~ 0.000074	0.000702

$$0.9 \times 0.000014 \times 3.231 + 1.1 \times 0.000010 \times 3.231 = 0.000076$$

セシウム 134				+	セシウム 137				=	放射性セシウムの 内部被ばく 預託実効線 量		
検出下限値	×	7～12歳の 実効線量係数	×		総重量(kg)	検出下限値	×	7～12歳の 実効線量係数			×	総重量(kg)
1.12	×	0.000014	×		3.19	0.76	×	0.000010			×	3.19
+					+					≒	0.000074	

総重量 (kg)	測定結果(下段:検出下限値) 単位: Bq/kg		放射性セシウムの 内部被ばくの 預託実効線量(mSv)	平成28年度中の 内部被ばくの 預託実効線量(mSv)
	放射性 セシウム 134	放射性 セシウム 137		
3.828	不検出 1.12	不検出 0.76	0 ~ 0.000119	0.001317

$$0.9 \times 0.000019 \times 3.231 + 1.1 \times 0.000013 \times 3.231 = 0.000101$$

セシウム 1 3 4				セシウム 1 3 7				放射性セシウムの 内部被ばく 預託実効線 量				
検出下限値	×	¹² ~ ¹⁷ 歳の実 効線量係数	×	総重量 (kg)	+	検出下限値	×		¹² ~ ¹⁷ 歳の 実効線量係数	×	総重量 (kg)	=
1.12	×	0.000019	×	3.828	+	0.76	×		0.000013	×	3.828	=